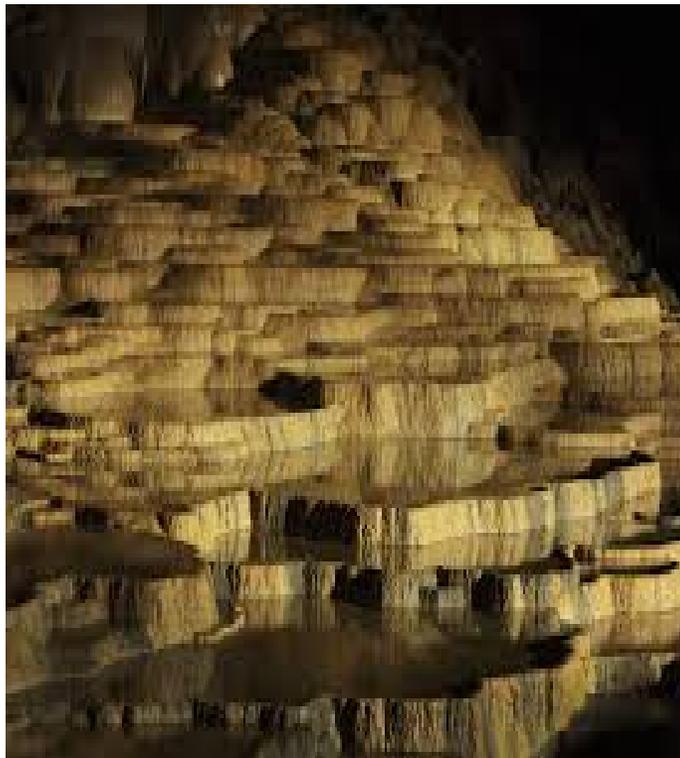


# 住民と地域事業者の課題共有からはじまる解決の実践



美祢市社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター 谷山智栄

# 美 祢 市

## 人口と高齢化率の推移

人口	23、354人
65歳以上	10、023人
高齢化率	42.9%
世帯数	10、895戸
独居世帯数	1、368戸
出生数	76人
	(令和元年度)

令和3年1月末現在

## 美祢市大嶺町来福台



約2km  
車4分  
徒歩24分



人口 1、741人  
65歳以上 321人  
世帯数 756戸



# 美祢市大嶺町東分 来福台における買い物支援について

課題把握

1. 高齢者の生活支援活動の在り方に関する住民意識調査(アンケート)

2. 今から備える10年後の来福台(ワークショップ)

研究

3. 先進地 視察 研修(防府市小野地区)

協議

4. 美祢市ささえ愛会議(協議体) 来福台住民と協議

調整

5. 事業者へサービスの説明と協力依頼

6. 意見交換会(商業施設、銀行、包括支援センター、地域振興課、社協)

実施

7. 実施 (3月6日に実施を予定していたが新型コロナウイルスの為延期)

# 1. 高齢者の生活支援活動の在り方に関する住民意識調査

**問** 生活支援活動やその「しくみ」づくりは、お住まいの地区(来福台団地)で必要と思いますか

## 【必要と思う】90.6%

1. 現在、自分あるいは自分の家族が、地域からの支援を必要としているから
2. 将来、自分あるいは自分の家族が地域からの支援を必要とするかもしれないから
3. 自分の家族以外で、地域内に支援を必要としている方を知っているから
4. 高齢化と世帯人員減少によって生じる課題は地域住民の支え合いによって解決すべきこと

## 【必要だと思わない】8.8%

- ・自分あるいは自分の家族が地域からの支援を必要とは思えないから
- ・高齢化と世帯人員減少によって生じる課題は本人子ども、親族で解決すべきことだから
- ・高齢化と世帯人員減少によって生じる課題は、行政や社協等が解決すべきことだから

調査概要	
調査主体	山口県立大学社会福祉学部
実施時期	2017年12月～2018年1月
調査方法	郵送による配布回収
対象者抽出法	住民基本台帳に基づき無作為
調査対象者	来福台地域住民18歳以上
調査票配布回収数	配布数500有効回収率34%

## 2. 今から備える10年後の来福台(ワークショップ)

### 課題

- ・ 移動の問題
- ・ ゴミ出し、庭の草刈り
- ・ 自分にできないことが増える
- ・ 集える場がない
- ・ つながりが薄い 希薄化
- ・ 空き家の問題
- ・ 高齢化問題

### 課題に対して現状

- ・ 車が運転できなくなる人が増えている。  
(買い物・病院・銀行などへの不安)
- ・ 独居老人が多くなる(現在75歳以上約150人)
- ・ バスに乗れない バス停までいけない
- ・ 健康状態の把握が難しくなる
- ・ 近所づきあいがなくなる
- ・ 独居老人の行き場がない

### ワークショップでの意見

- ・ **高齢者が来て、おしゃべり お茶ができる場所があればよい。**
- ・ **小型車でも乗合いできる車があればよい。**
- ・ **買い物助け合い**
- ・ **ボランティアグループをつくる**



# 4. 美祢市ささえ愛会議（協議体）

協議体メンバー（2層）

美祢市民生委員児童委員協議会

美祢ボランティア連絡協議会

地区代表

美祢市立病院 地域連携室

美祢市高齢福祉課

美祢市地域包括支援センター

美祢市社会福祉協議会

目的

- ・ 孤立防止及び介護予防を兼ねた高齢者の居場所づくり（閉じこもり予防）
- ・ 日常的な買い物困難者への支援
- ・ 安否確認
- ・ 住民同士の繋がり確認、仲間づくり
- ・ 地域情報を提供・情報交換（茶話会）
- ・ 専門職による介護予防講座受講（体操・講話）
- ・ 地域課題・ニーズ等の把握及び考察

地域の高齢者が集っておしゃべりができて一緒に楽しく介護予防をして、なおかつ買い物もして帰れる場

# 曾根地区 商業施設の配置図

← 来福台

秋芳 →



スーパーマーケット  
サンマート



スーパー・ドラッグストア  
岩崎チェーン

よしのうどん



西京銀行



ディスカウントストア  
ダイレックス



植田救急クリニック

# 4. 美祢市ささえ愛会議 (協議体)

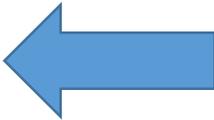
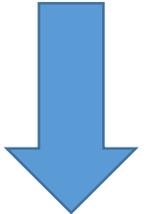
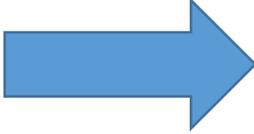
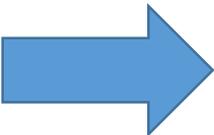
① 西京銀行  
休憩 茶話会

② 昼食



④ お買い物

③ 植田救急クリニック  
専門職による介護予防



## 6. 地域住民、商業施設、銀行、クリニック、協議体、包括支援センター、行政、社協 意見交換会

### 地域住民

- ・買い物は、月2回タクシーを利用している。タクシー代が往復2,000円かかる
- ・今は自転車で買い物に来ているが、坂道もあり、暑い時、寒い時はとても厳しい
- ・冷暖房が完備してある休憩場所(銀行)があることによって安心してゆっくり買い物ができる
- ・買い物支援のしくみを作っていくことによって、免許返納も考えてくれる方もいると思う
- ・各事業者の方が一丸となって、地域に寄り添って頂くことは、有難いと思っている

### 商業施設

- ・身体が不自由な高齢者については、従業員がサポートをしながら買い物を楽しんでもらう方法も考えたいと思う
- ・3者(岩崎チェーン、サンマート・ダイレックス)が一同に会した事を機に、高齢者がより買い物がしやすい方法を今後も協議したいと思う。
- ・3者共有のポイントカードの発行やジオタク(乗合いタクシー)片道無料券の配布等、少しでも、高齢者に還元出来る事を考案したいと思う



意見交換会

### 西京銀行

- ・休憩や茶話会、介護予防体操の場として応接室(5~6人) 会議室(40~50人収容)を有意義に利用してほしいと考えている
- ・要望があれば、高齢者が不安に思っている終活の事や相続についても相談にのることも可能である
- ・日頃から高齢者に接する機会が多い行員を買い物支援事業の担当者として一緒に活動させたいと考えている
- ・高齢者が好むお菓子とお茶を準備したいと思う。  
ゆっくり休憩してほしい

地域住民  
スーパー店長  
西京銀行支店長  
クリニック理学療法士  
協議体メンバー  
地域包括支援センター  
行政 社協

### 植田救急クリニック

- ・サロンに出向いて介護予防体操等の指導を行っている経験から地域の高齢者の様子等は把握している。参加者が無理なく実施できる内容にしたいと思う
  - ・専門的な立場から参加者に何らかの違和感を感じた場合は、各関係機関に相談し認知症等の早期発見に繋がりたいと思う
- 会場は十分なスペースを確保できる。床もマットが敷きつめてあり、体操の際、足腰の負担も軽減され環境は適していると思われる

# 7. 実施

## 買い物応援ツアー

3月6日(金)スタート

10時30分～

自宅・来福センターに運転ボランティアがお迎えにいきます。

【西京銀行 休憩】【よしのうどん等でお食事】

【植田救急クリニック 介護予防】そして買い物しませんか



参加費 無料 (買物は各自負担)

### 【スケジュール】

- 10:30～ 自宅・来福センター集合
- 11:00～ 休憩 (西京銀行)
- 11:30～ 昼食 (よしのうどん等)
- 12:40～ 介護予防 (植田救急クリニック)
- 13:10～ お買い物  
(岩崎チェーン・サンマート・ダイレックス等)
- 14:00～ お帰り

# 買い物支援 施行



自宅へ迎え



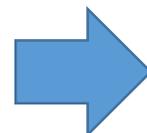
介護予防体操



スーパーで買い物



自宅へ送り



ご清聴ありがとうございました。

